

# 長島一向一揆の舞台となった古木江城址

(立田輪中悪水土地改良区)

中学の教科書に登場した一向一揆を覚えていますか？室町時代末期に一向宗(現在の浄土真宗)の門徒が起こした武力抗争のことです。立田輪中悪水土地改良区の排水担当地域である森川町にも、長島一向一揆の舞台となった古木江城址(小木江城とも言う)の旧跡が残っています。

右の地図は約450年前の地形事情を現したもので、木曾三川内に島が点在する輪中地域の様子が確認できます。

この抗争では、河川内に点在する各輪中の島々のうち、立田輪中の南端に位置した古木江城に織田信長の弟信興のぶおきが派遣され、長島輪中の一向宗門徒と木曾川を挟んで対峙したそうですが、信興は一向宗門徒に囲まれ、城外で討たれたと伝えられています。兄信長はその後数回の戦いを経てこの地を治めたそうです。下の写真は古木江城敷地内にあったとされるとみおかじんじや富岡神社とその西を流れる鵜戸川の現在の様子です。



(新編 立田村史より)



排水機場の名前	排水ポンプの運転状況 平成30年4月から平成31年3月までの1年間(下段は前年度比)			
	運転日数	運転時間数	排水費用	内電気代
立田排水機場	207日 (-21日)	1,931時間 (-262時間)	13,399,920円 (+647,504円)	6,067,088円 (+4,642円)
立田輪中第2排水機場	206日 (-22日)	1,840時間 (+38時間)	13,800,422円 (+1,484,680円)	10,774,992円 (+1,214,143円)

排水機場は、水を吸い込む機能上たくさんのゴミが流れてきます。処分には多くの費用が掛かりますので、水路へのゴミ捨てはやめてください。

問 土木課 ☎(55)7125